

1 阪神淡路大震災にはなかった感覚 義援金だけでいいのか

3月は、会社HPで、大震災に関する石油業界情報の発信を開始
そんな時、母親を亡くし、自らも被災し九死に一生を得たにも関わらず
一週間後には、SSを再開した業界の友人と連絡がついた。SOS。
支援物資持って被災地に行こう。大船渡の友人のSSは右写真



2 第1回訪問 4月18-19日 個人から紀尾井町RCの事業に発展

東北道全線の開通と北上市にホテルが予約が取れ、嫁さんからやっと許可
西協会長と理事会からも10万円枠を頂き支援物資購入 車で往復1200km
SS業界の友人、大船渡の丸新石油 新沼社長には私個人の支援物資
大船渡市の避難所大船渡公民館へ、紀尾井町RCの支援物資を提供
大船渡RC元会長鈴木氏のご尽力で実現。大船渡市からは感謝状拝受



3 大船渡市の現実も確かに酷かったが 平和ボケの東京人に見せたい場所

友人がお子様と命からがら逃げた裏山の高台と眼下の惨状
瓦礫の片隅の看板からそこが大船渡駅だったと分かる風景



4 人生で最も辛い経験となった 陸前高田市の惨状

陸前高田は状況一変。驚愕の国道45号。360度 瓦礫？更地？
襲ってくる恐怖感、孤独感。悲しみ。そしてカーナビの衝撃。
1人の支援が紀尾井町RCの支援に拡大となった？ 甘かった



陸前高田の厳しい現実を把握し人生観変わる。1か月間 立ち直れず

5 第2回 6/13-14 訪問 陸前高田RCの幹事 佐々木松男氏と会う

JRIC会員、盛岡北の田口絢子さん(2012年超私の奉仕賞受賞)の情報や
水戸RC秋山住職が、陸前高田RCの佐々木松男幹事に中古車提供。私も
西協会長と理事会の承認を得て、ガソリン代は東京紀尾井町RCが担当



6 第3回 8/22-23訪問 ロータリアンの友人(JRICの仲間)達と訪問

7月「東北支援の会」を設立。個人的に義援金の募集を開始する

7 第4回 10/8-9 訪問 東京紀尾井町RCの有志9名で行く

陸前高田RCの佐々木幹事、RC事務所の建設支援金を寄付



8 12月 陸前高田RCの佐々木幹事を、東京にお招きして座談会

陸前高田RCの佐々木幹事、東京紀尾井町RC例会に来訪され御礼 挨拶
例会後、深尾会長他約30名弱が集まり佐々木氏を囲む会を開催

9 2012年 復興支援委員会設立 6/18 宗田委員と訪問

深尾会長のご方針で 2012年3月になり復興支援委員会を立ち上げる。
3-4-5月の理事会審議を経て、陸前高田の仮設住宅の住民に、「生きがい」
を持ってもらう為の、花壇畑プロジェクトに協賛。検証に宗田会員と訪問



10 遠藤会長年度の理事会にて 5年のプロジェクトとなる

9/19火曜 陸前高田RCの例会に6名訪問。今年度の花壇等の維持費を寄付
癒しの公園には間に合わなかった紀尾井町RC名前入りの看板も設置

11 今年度の委員会方針 決して陸前高田のみに絞るものではない。

支援の効果を把握する意味もあり、来年の種まきシーズンに、金井副会長
大竹副幹事にも一度訪問して頂き、次年度以降の継続を判断して頂きたい
また継続性のため次年度は目代さん、次次年度は大西さんを委員長に推薦

